PHARUMO

地域医薬品情報共有クラウドサービス

株式会社ファルモ

2025年10月

会社名	株式会社ファルモ		事業沿革
灵士	2012年5月	2012年5月	当社設立、電子お薬手帳事業開始
代表者	代表取締役社長 廣井嘉栄	2012年3月 2015年5月	当社成立、电子の架子 収争未用知 株式会社エムティーアイを割当先とする第三者割当増資を実施
所在地	〒163-1428 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティータワー52階	2015年8月	電子お薬手帳リニューアル。調剤情報ハブシステム「ファルモクラウド」に連携するお薬手帳としてOEM提供を開始
事業内容	・調剤薬局向けソリューションの開発・運営・調剤情報を活用した各種ソリューション開発・	2015年12月 2018年10月	有料職業紹介、一般人材派遣業免許を取得 地域医療連携システムと薬局をつなぐ「ファルモクラウドID- Link連携サービス」をリリース
	運営 ・ヘルスケア業界向け求人媒体事業の開発・運営	2019年9月	薬局向け在庫管理支援システム「EveryStock」リリース
資本金	100,000,000円	2020年4月	医療ヘルスケア業界向け求職サイト「ジョブメディカ」リリー ス
主要株主	株式会社エムティーアイ 廣井 嘉栄	2021年9月	薬局向け監査支援システム「EveryPick」リリース
免許認証	有料職業紹介業(13-ユ-3074789) Pマーク・ISMS 日本ブロックチェーン協会正会員		Our Mission





Aster Japan Lab会員





Oui M1331011

薬局をつなぐ。地域をつなぐ。未来の医療をつなぐ。

ファルモは、薬局をはじめとする医療機関や医療を取り巻く様々な主体を「つなぐ」ことで すべての当事者にとって幸せで持続可能な医療の実現を目指します。 私たちは、未来の医療を共に創り上げるパートナーです。

主要メンバーのご紹介



広井 嘉栄 代表取締役社長兼CEO/薬剤師

- ✓東京理科大学薬学部卒業後、INTEC Web and Genom Informaticsにて遺伝子解析業務に携わる
- ✓その後、医療情報学分野へ進み、神戸大学医学部附属病院、東京医科歯科大学特任助教を経て、世田谷区にあるゆずき薬局の薬剤師として小児医療の現場に立ちながら「ファルモ」を開発
- ✓2012年、株式会社ファルモとして独立
- ✓東北大学大学院医学系研究科 博士課程修了(医学博士)



清川 真也 常務取締役兼COO/薬剤師

- ✓京都大学薬学部卒業後、複数の病院・調剤薬局にて薬剤師としての業務経験を蓄積。
- ✓その後KPMGヘルスケアジャパン株式会社に参画し、ヘルスケア関連産業における戦略立案、 デューディリジェンス、リストラクチャリング等のアドバイザリーサービスに従事。
- ✓2019年、CFOとしてファルモに入社。
- ✓国際医療福祉大学大学院 医療経営管理分野 医療経営戦略コース修了(h-MBA)

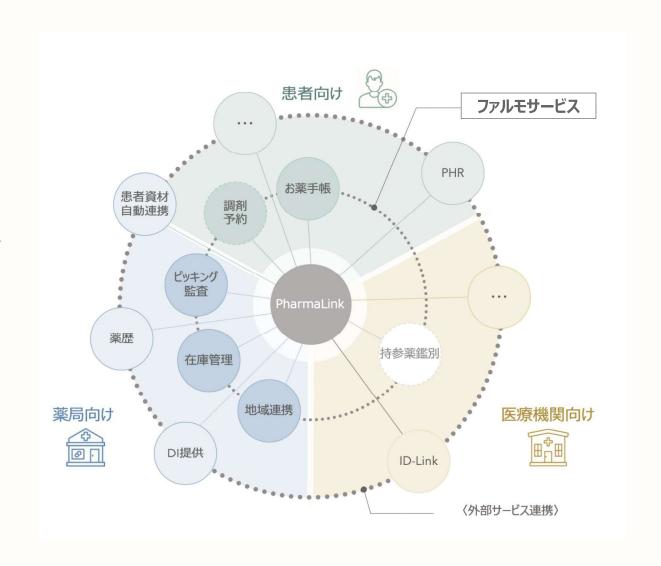


宮 英嗣 フェロー/薬剤師

- ✓摂南大学薬学部卒業後、複数の病院・調剤薬局にて薬剤師として現場経験を積む。
- ✔調剤業務に携わる一方で、独学でプログラミングを学び、現場に必要なシステム開発に取り組む。
- ✔2012年、ファルモに入社。設立メンバーとして電子お薬手帳「ファルモ」、在庫共有システム「Every」、調剤情報ハブシステム「ファルモクラウド」など複数のプロダクトを手がけ、2019年、CTOに就任。2025年より生成AIの実装に向けフェローとしてR&Dに特化。

つながる力が、医療を変える。

ファルモクラウドは、患者・薬局・医療機関に対して、 自社プロダクトのみならず、他社サービスとの連携を 通じて、様々な価値を創出し提供しています。



目的:日薬アクションリストの遂行

・日薬アクションリスト Action 1-6

- ① 地域における薬局機能の把握(リスト化)・地域での活用
- ②地域の医薬品情報の把握・共有
- ③ 地域の医療体制と薬局機能の分析・課題発掘及び対応策の検討(地域・場面ごとに検討)
- ④ 休日・夜間における医薬品提供体制の構築・強化
- ⑤ 在宅医療における医薬品提供体制の強化
- ⑥ 離島・へき地、薬局がない地域への対応
- ※上記を実施する際に、薬局高度化推進事業予算申請が可能 但し、②に使用できる補助金は予算は50%

・ 薬局機能の高度化推進事業

Ⅲ 地域における薬剤師サービス提供体制の強化379百万円 → 684百万円

1 薬局機能の高度化推進

360 (46) 百万円

かかりつけ薬局・薬剤師をはじめとした地域を支える薬局の機能や薬剤師 サービスの高度化を図るため、地域における医薬品提供体制の強化、医療機 関-薬局間の情報連携の推進等、地域において求められる薬局の機能強化に ついて調査・検討等を行う。

※上記とは別に、令和6年度補正予算において対物業務の効率化のための鑑査支援装置の 活用等の調査・検討の経費(10百万円)を計上。

補助事業の参考スケジュール

高度化事業スケジュール		8.	月			9	9月 10月 11月						12月				1月				2月							
WEEK	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地域薬より県薬へ事業申請(8月4週)																												
都道府県薬から日薬へ事業申請(9月1週)																												
日薬/Pwcより県薬へ採択報告(9月中下旬)																												
各地域薬にて事業開始																												
地域での事業説明→システム準備																												
システム稼働																												
各地域で計画した事業終了																												

機能比較

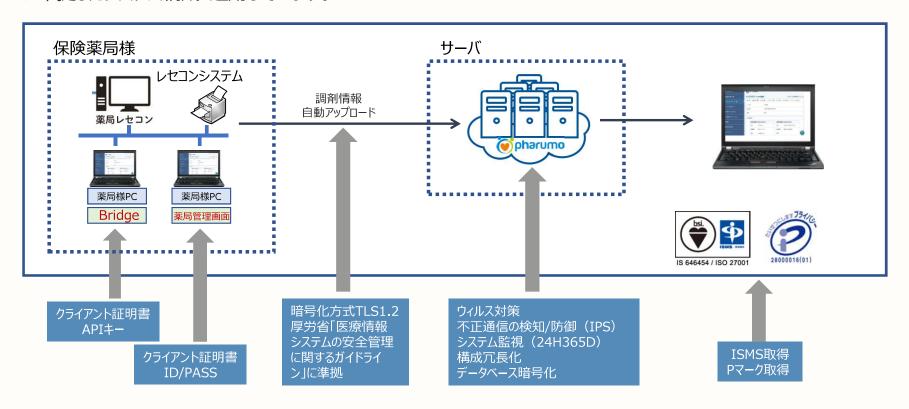
上	比較項目	NSIPS連携 (本サービス)	レセプト連携	在庫情報連携	補足
-	アップロード方法	自動	手動	自動	レセプト連携は手動アップロードで手間がかかる ため月単位の運用が多い。
データ更新	頻度	リアルタイム	月単位	リアルタイム	また、薬局の更新漏れが課題となるため、自動 更新が推奨される。
デ	一夕精度	採用品目	採用品目	在庫数量	• 在庫数量表示には各薬局が正確な棚卸データ を保有している必要があり、地域薬局間の連携 においては採用品目までが現実的。
導入	運用コスト	0	0	×	・ 在庫情報連携は比較的運用コストと導入コストともに高い。
:	拡張性	0	Δ	×	・ NSIPSは、お薬手帳や地域医療連携など様々なシステムと連携することが可能。
禾	川用許諾	要	不要	ケースによる	• NSIPSの利用には日本薬剤師会の利用許諾 が必要。

システム説明

	機能	説明	備考
	採用薬検索機能	• 地域内の医薬品状況をリアルタイムで把握	医薬品・一般名検索が可能
基 本 機 能	デットストック登録	• 薬局間で不動薬の譲渡を促進	他薬局にも自動で情報共有
HG	分譲依頼書	• 薬局間での効率的な医薬品譲渡をサポート	薬局間の行き違いを防止
オ	災害時の医療体制状況の共有	• 緊急時の医療体制・医薬品の在庫状況の共有	災害時、初動対応を支援
オプション	調剤データ分析	• 調剤データを活用した地域医療構造分析	地域の医薬品状況をレポート
ン	処方箋ポータル	• 複数PHR処方箋を一括応需し管理する機能	新患獲得や受付業務を支援
開発	医療材料	・ 薬同様、医材の在庫共有・分譲機能	薬同様、医材情報も共有

セキュリティ対策

「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」及び 「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン」 に準拠したシステム構成・運用しています。



参加薬局様の導入スケジュール

随時フォローアップさせて頂きますが、STEP3/STEP4は各薬局様自身での設定を基本とさせて頂きます。 尚、導入までは、お申込みいただいてから3か月後(令和8年1月)を稼働目標とさせて頂きます。

STEP1 お申込 5営業日(目安)

専用のWEBフォームより参加申 込みをいただきます。参加の場 合は、必要情報の記入を、不 参加の場合も、不参加理由を 回答願います。

STEP2
(設定日の了承)
お申込み次第実施

申込頂いた薬局様より当社に てご連絡をさせて頂きます。 ベンダーへの設定依頼方法など をメール送付させて頂きます。

STEP3	
リケ	
アプリケーション設定	
10-12月中旬	

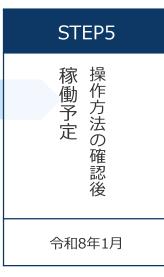
STEP 2 が完了次第。お客様 にて貴社レセコンへのアプリケー ションの設定をお願い致します。

※マニュアル・動画ご提供

STEP4	
操 作 用 端 *	
末の設定	
12月中	

システムに使用するPC端末をご 準備頂き、(現在使用中の端 末等でも可能) 証明書など設 定を行って頂きます。

※マニュアル提供



システム利用開始

※操作動画ご提供

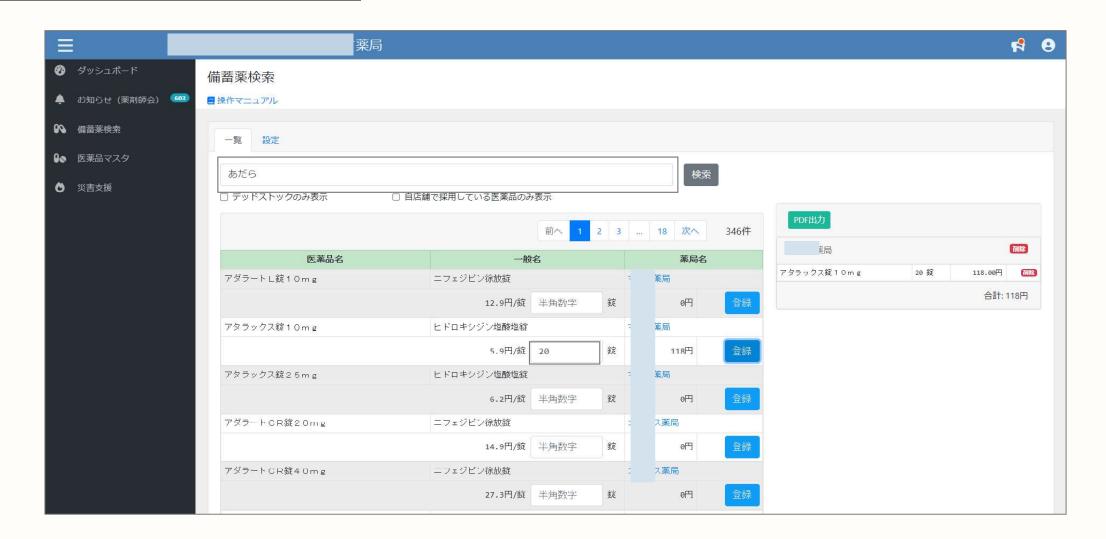
貴会スケジュールイメージ

高度化事業スケジュール		8.	月		9月				10月				11月				12月				1月				2月			
WEEK		2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
地域薬より県薬へ事業申請(8月4週)																												
都道府県薬から日薬へ事業申請(9月1週)																												
日薬/Pwcより県薬へ採択報告(9月中下旬)																												
各地域薬にて事業開始																												
地域での事業説明→システム準備																												
システム稼働																												
各地域で計画した事業終了																												

アンケート入力のご協力を 下記よりお願い致します



参考) 画面 検索イメージ



参考) 画面 不動薬登録イメージ



参考) 画面 分譲依頼書イメージ

分譲手順

- ①EveryConnectから譲渡依頼書を発行(本書面)
- ②譲渡元に対し、TEL、FAXにて譲渡可否を確認
- ③ (可の場合) 本書面を印字の上、譲渡元薬局に受取に行く
- ④譲渡元は「使用期限」と「製造番号」を記入した本書を 付けて譲渡先に薬を渡す
- ※入・出庫に関わる領収書、譲渡記録書等については薬局様で 採用している在庫管理システムから発行して頂く必要がございます。

